

御香宮神社

平成26年厄年表 (数九年)	
男	女
25歳	19歳
41歳	32歳
42歳	33歳
43歳	34歳
	37歳
61歳	61歳

御香宮社務所





延享丁卯年再立

奉

納

伏見城跡残石
キケンですからここでは
遊ばないで下さい
御香
伏見城研究会

天満宮

神燈

奉

伏見城跡残石
キケンですからここでは
遊ばないで下さい

御
香
伏見城研究会
宮





此の夫滿宮社は、應永のむかし伏見石井庄に鎮座。豊公桃山城を造立す
諸藩邸を造らしやうやく加賀前田侯邸内に遠祖の像に傍て祠を
改造祭祀も莊嚴に舉行れしと時世變遷^カ。殿盛^{ハシメ}桃山城
荒きるあそれ祠宇も祥^{シテ}のうちに朽累^{ハシメ}なも状^{ハシメ}を觀。音寺信職^{本教}
覺工匠役田岩次郎は赤心を振起^{ハシメ}。教譽見は資金を募り集寫志者奉
金市造之と替^{ハシメ}。岩次郎は工事を貢^{ハシメ}。廿年間一日の如く共に勞^{ハシメ}。天祐十
二年其所に瑞の神殿美^{ハシメ}。造竟遷^{ハシメ}奉^{ハシメ}。最^{ハシメ}事^{ハシメ}。然^{ハシメ}而^{ハシメ}然^{ハシメ}
許^{ハシメ}。亥^{ハシメ}の年月^{ハシメ}。徑^{ハシメ}喜^{ハシメ}破損^{ハシメ}。かほの社主矢野重一郎有志の
修理^{ハシメ}奉^{ハシメ}。又社務所社標玉垣等新設。明治二十五年。廿六年の
大祭仕奉^{ハシメ}。如此社頭の光輝^{ハシメ}。まさ隨^{ハシメ}神威^{ハシメ}。益靈^{ハシメ}。度^{ハシメ}。今般
岩次郎男忠兵衛發起^{ハシメ}。此事跡を碑に記^{ハシメ}。にせん

明治三十九年三月

鳥羽重晴謹識











お伊勢さまに



舉
燈

氏子
守

場内は
最徐行で





平成26年厄年表
(数え年)

男	女
平成 2年25歳	平成 8年19歳
昭和 49年41歳	昭和 58年32歳
本厄	
昭和 48年42歳	昭和 57年33歳
後厄	
昭和 47年43歳	昭和 56年34歳
まゆ一年	
	昭和 53年37歳
遠厄	
昭和 29年61歳	昭和 29年61歳

御香宮社務所

御香宮神社拝殿











正遷宮記念

昭和十五年二月廿四日

奉納

本居宣長著